

津幡団長、後藤前署長に消防庁長官表彰
津別消防団には表彰旗が授与される

3月28日、消防庁長官表彰の伝達式が町長室で行われ、永年勤続功労章を受章した津幡俊二津別消防団長と後藤哲弘前津別消防署長に、佐藤町長から表彰状が手渡されました。

津幡団長は、35年以上にわたり各種災害出動及び消防団幹部として予防思想の普及並びに消防団員への指導育成による功績、後藤前署長は、42年にわたり消防職員の士気高揚等指導育成並びに消防行政に卓越した手腕を発揮した功績が認められたものです。

また、津別消防団に対しては、他の模範と認められる消防機関として、表彰旗が授与されました。



▲(左から)表彰状を手にする後藤前署長、津幡団長と津別消防団に授与された表彰旗

子どもたちの安全な通学を願い
交通安全協会がランドセルカバー寄贈

3月30日、津別町交通安全協会(柳瀬輝彦会長)から教育委員会に、走行中のドライパーからも視認しやすい黄色のランドセルカバーや、交通安全ポスターなどが寄贈されました。



▶交通安全協会・柳瀬会長(右)と宮管教育長

ポスターは、あいうえお表に交通安全標語が印刷されており、ひらがなと一緒に交通安全の心得が学習できるものです。道路標識を分かりやすく説明した定規とあわせたこれらの3点セットは、津別小学校の新一年生全員にプレゼントされ、通学時などの安全に役立てられます。

事故のない安全で安心な社会を目指して
交通安全推進町民大会を開催

平成29年度津別町交通安全推進町民大会(主催 津別町交通安全推進委員会)が、4月11日、町民会館で開催されました。

大会冒頭に交通事故犠牲者への黙祷が行われ、昨年、町内で3人の尊い命が輪禍により失われたこともあり、参加者は死亡交通事故ゼロへの思いを新たにしました。

『第25回交通安全標語コンクール』の表彰式では、小学生の部・最優秀賞「ゆずり合う優しい心で 運転を」(津別小学校6年 植松歩有子さん)、中学生の部・最優秀賞「ドライパー あせる心に ブレーキを」(津別中学校2年 迫田夢人さん)など、入賞者に佐藤町長から表彰状が手渡されました(※学年は平成28年度)。続いて、主催者・来賓の挨拶、町内各団体の代表者による決意表明があり、美幌警察署地域交通安全課長の交通安全講話で大会を終えました。



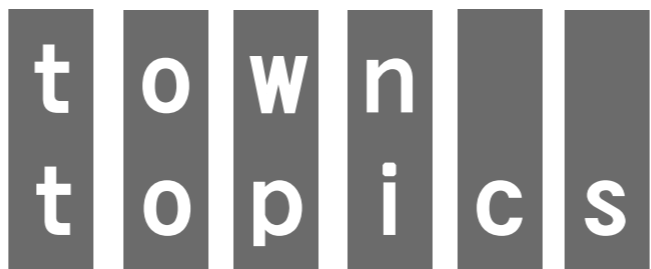
▶交通安全推進町民大会の様子
▲第25回交通安全標語コンクール表彰式

児童、生徒の安全を見守る
建設産業団体が交通安全旗を寄贈

4月4日、建設産業交通安全推進網走地方本部美幌支部(支部長代理・中村光一津別建設代表取締役)から教育委員会に、交通安全旗80枚が寄贈されました。

黄色地にエゾ鹿のイラストをあしらった大型の旗は、小・中学校周辺の道路に掲げられ、児童、生徒の交通安全意識高揚や自動車運転者への注意喚起などに役立てられます。

学校周辺の交通安全旗は、春・秋の全国交通安全運動期間に合わせて、4月と9月に新しいものと交換していきます。



まちのわだい



▶中村支部長代理(左)と宮管教育長

新入学児童が犯罪被害に遭わないように
津別町防犯協会が防犯ブザーを寄贈

4月4日、津別町防犯協会(中川孝敏会長)から教育委員会に、防犯ブザーが寄贈されました。

ひもを引くと大音量の電子音が鳴り響き、周囲に異常を知らせるこの寄贈品は、通学の際などに子どもたちを犯罪被害から守ることを目的に、津別小学校の新一年生全員に贈られました。



▲津別町防犯協会・中川会長(中央)と同・大江事務局長(右)、宮管教育長(左)

町の子育て支援事業『遊びのひろば』がスタート
成長の記録・手型足型を使った壁飾りを作りました



4月11日、新たな町の子育て支援事業として『遊びのひろば』がスタートしました。月1回、子育て支援センターを会場に、子どもの育ちの専門家(美幌療育病院の作業療法士・言語聴覚士)、子育て支援センターの保育教諭、町の保健師が、子どもの育ちに合わせた集団遊びや専門的相談、子育て講座等を行います。

この日は就園前の子どもたちの成長の記録として、手型足型を取り、ちょうちよの壁飾りを作成しました。

地域おこし協力隊の
『まちのわだい』

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと感じたことをつづります。



都丸 雅子
平成28年4月から「道の駅あいおい」勤務。群馬県出身。みんなからは「まるちゃん」と呼ばれています。

みなさん、こんにちは。早いもので私が津別町に来て1年が経ちました。その間、色々な経験をさせていただきましたが、特に記憶に残っているのはアイスクャンドルまつりに参加させていただいたことです。当日はクマヤキを販売しましたが、実行委員の方、高校生ボランティア、観光協会のみなさんなど様々な方に助けていただきました(本場にありがとうございました)。会議や設営など、実行委員として関わらせていただいたおかげで、みなさんと密に話す機会をいただけたことが大変うれしかったです。そのクマヤキ、実は3月末に『クマヤキフォトパネル』ができました! これ



は、競合調査をしてきた道の駅あいおいのスタッフ川田さんの「うちの道の駅にもクマヤキと一緒に写真が撮れるパネルがあつたらいいよね」という提案からスタートしたものです。その後、大西重成さんにご相談させていただき、みなさまの尽力により完成しました。クマヤキをガブリとかじりながら写真を撮るとい、なんとかわいいいアイデアはさすが大西さんだと感激しました。今後多くのお客様にかわいがっていただけたらいいなと思っています。「道の駅あいおい」にお越しの際には、ぜひクマヤキフォトパネルでガブリ写真を撮ってみてください!